

(博士後期課程) 化学・環境・生命工学専攻【生命工学コース】 アドミッション・ポリシー

研究科・専攻ポリシー

生命科学・医工学の体系的な知識および実験技術を駆使し、持続可能な発展の実現に向けた諸課題の解決を主導できる高度専門技術者・研究者の育成を行う。また、これらの活動に対して、情報の受発信を円滑に行い、リーダーシップをとりながら課題発見から解決に至る過程に携わることができる能力を高めていく。

<求める人物像>

- 専攻および生命工学コースが掲げる教育目標を理解し、その実現に対して努力できる人
- 生命工学についての技術基盤をもち、他分野との融合的な取組にも積極的に関わる意欲をもった人
- 自らの考えや研究の意義づけ、状況把握に対して化学の言葉を駆使しながら的確に言語表現ができる人

入学前に学修しておくことが期待される内容

生命工学分野に関する幅広い専門的知識に加え、他分野の視点を含めて多面的に分析することで課題解決できることが必要である。また、研究の推進能力や研究成果の論理的説明能力も培っておくことが重要である。

一般入試 外国人留学生入試 共通

研究内容に関する面接試問で、専門的知識、研究推進能力、論理的説明能力を評価する。